

プロトコール番号

大腸癌 2週毎 オキサリプラチン+フルオロウラシル+レボホリナート(mFOLFOX6)療法					催吐リスク 中等度	
投与プロトコール:1クール14日間		投与量	投与日	投与時間	備考	
ルートキープ輸液	5%ブドウ糖液 250mL	-	Day1			
①	オキサリプラチン	85mg/m2	Day1	2時間		
	5%ブドウ糖液 250mL					
②	レボホリナート	200mg/m2	Day1	2時間		
	5%ブドウ糖液 250mL					
①・②は同時に投与						
③	フルオロウラシル	400mg/m2	Day1	全開		
	5%ブドウ糖液 100mL					
④	フルオロウラシル	2400mg/m2	Day1	46時間		
	ヘパリンNaロック10U/mLシリンジ10mL					
	生食					

プロトコール番号

大腸癌 2週毎 ベバシズマブ+オキサリプラチン+フルオロウラシル+レボホリナート
(BV+mFOLFOX6)療法

催吐リスク
中等度

投与プロトコール:1クール14日間		投与量	投与日	投与時間	備考	
ルートキープ輸液	5%ブドウ糖液 250mL	-	Day1			
①	ベバシズマブ	5mg/kg	Day1	使用上の注意参照		
	生食100mL					
②	オキサリプラチン	85mg/m2	Day1	2時間		
	5%ブドウ糖液 250mL					
③	レボホリナート	200mg/m2	Day1	2時間		
	5%ブドウ糖液 250mL					
②・③は同時に投与						
④	フルオロウラシル	400mg/m2	Day1	全開		
	5%ブドウ糖液 100mL					
⑤	フルオロウラシル	2400mg/m2	Day1	46時間		
	ヘパリンNaロック10U/mLシリンジ10mL					
	生食					
◆ベバシズマブは初回90分かけて滴下。問題なければ2回目 60分 3回目以降 30分に時間短縮可能。						

プロトコール番号

大腸癌 2週毎 イリノテカン+フルオロウラシル+レボホリナート (FOLFIRI) 療法					催吐リスク 高度	
投与プロトコール: 1クール14日間		投与量	投与日	投与時間	備考	
ルートキープ輸液	生食 250mL	-	Day1			
①	イリノテカン	150mg/m ²	Day1	2時間		
	5%ブドウ糖液 250mL					
②	レボホリナート	200mg/m ²	Day1	2時間		
	5%ブドウ糖液 250mL					
①・②は同時に投与						
③	フルオロウラシル	400mg/m ²	Day1	全開		
	5%ブドウ糖液 100mL					
④	フルオロウラシル	2400mg/m ²	Day1	46時間		
	ヘパリンNaロック10U/mLシリンジ10mL					
	生食					

プロトコール番号

大腸癌 2週毎 ベバシズマブ+イリノテカン+フルオロウラシル+レボホリナート
(BV+FOLFIRI)療法

投与プロトコール:1クール14日間					投与量	投与日	投与時間	備考	催吐リスク 高度	
ルートキープ輸液	生食 250mL		-	Day1						
①	ベバシズマブ		5mg/kg	Day1	使用上の 注意参照					
	生食100mL									
②	イリノテカン		150mg/m2	Day1	2時間					
	5%ブドウ糖液 250mL									
③	レボホリナート		200mg/m2	Day1	2時間					
	5%ブドウ糖液 250mL									
②・③は同時に投与										
④	フルオロウラシル		400mg/m2	Day1	全開					
	5%ブドウ糖液 100mL									
⑤	フルオロウラシル		2400mg/m2	Day1	46時間					
	ヘパリンNaロック10U/mLシリンジ10mL									
	生食									
◆ベバシズマブは初回90分かけて滴下。問題なければ2回目 60分 3回目以降 30分に時間短縮可能。										

プロトコール番号

大腸癌 3週毎 カペシタビン+オキサリプラチン(XELOX)療法					催吐リスク 中等度
投与プロトコール:1クール21日間		投与量	投与日	投与時間	備考
ルートキープ輸液	5%ブドウ糖液 250mL	-	Day1		カペシタビンの投与量 (体表面積あたり) 1.36㎡未満 2400mg/日 1.36㎡~1.66㎡ 3000mg/日 1.66㎡~1.96㎡ 3600mg/日 1.96㎡以上 4200mg/日
①	オキサリプラチン 5%ブドウ糖液 500mL	130mg/m ²	Day1	2時間	
内服	カペシタビン		Day1夕~15朝	朝夕	

プロトコール番号

大腸癌 3週毎 ベバシズマブ+カペシタビン+オキサリプラチン(BV+XELOX)療法					催吐リスク 中等度
投与プロトコール:1クール21日間		投与量	投与日	投与時間	備考
ルートキープ輸液	5%ブドウ糖液 250mL	-	Day1		カベンチンの投与量 (体表面積あたり) 1.36㎡未満 2400mg/日 1.36㎡～1.66㎡ 3000mg/日 1.66㎡～1.96㎡ 3600mg/日 1.96㎡以上 4200mg/日
①	ベバシズマブ 生食100mL	7.5mg/kg	Day1	使用上の 注意参照	
②	オキサリプラチン 5%ブドウ糖液 500mL	130mg/m ²	Day1	2時間	
内服	カペシタビン		Day1夕～15朝	朝夕	
◆ベバシズマブは初回90分かけて滴下。問題なければ2回目 60分 3回目以降 30分に時間短縮可能。					

プロトコール番号

大腸癌 3週毎 ベバシズマブ+カペシタビン+イリノテカン(BV+CAPIRI)療法					催吐リスク 中等度
投与プロトコール:1クール21日間		投与量	投与日	投与時間	備考
ルートキープ輸液	5%ブドウ糖液 250mL	-	Day1		カンサンの投与量 (体表面積あたり) 1.36㎡未満 2400mg/日 1.36㎡~1.66㎡ 3000mg/日 1.66㎡~1.96㎡ 3600mg/日 1.96㎡以上 4200mg/日
①	ベバシズマブ 生食100mL	7.5mg/kg	Day1	使用上の 注意参照	
②	イリノテカン 5%ブドウ糖液 500mL	200mg/m ²	Day1	1.5時間	
内服	カペシタビン		Day1夕~15朝	朝夕	
◆ベバシズマブは初回90分かけて滴下。問題なければ2回目 60分 3回目以降 30分に時間短縮可能。					

プロトコール番号

大腸癌 1週毎 セツキシマブ(CET)療法					催吐リスク 最小度
投与プロトコール:1クール7日間		投与量	投与日	投与時間	備考
ルートキープ輸液	生食 250mL	-	Day1		
①	初回 セツキシマブ 生食500mL(セツキシマブの容量分抜く)	400mg/m ²	Day1	2時間	
	2回目以降 セツキシマブ 生食100mL(セツキシマブの容量分抜く)	250mg/m ²		1時間	
経過観察	セツキシマブ終了後、生食をセツキシマブ投与速度と同じ速度以下で投与する。Infusion reactionの発現に注意し1時間経過観察する。				

プロトコール番号

大腸癌 3週毎 セツキシマブ+カペシタビン+オキサリプラチン (CET+XELOX)療法					催吐リスク 中等度
投与プロトコール:1クール21日間		投与量	投与日	投与時間	備考
ルートキープ輸液	5%ブドウ糖液 250mL	-	Day1、8、15		カペシチンの投与量 (体表面積あたり) 1.36㎡未満 2400mg/日 1.36㎡～1.66㎡ 3000mg/日 1.66㎡～1.96㎡ 3600mg/日 1.96㎡以上 4200mg/日
①	初回 セツキシマブ 生食500mL(セツキシマブの容量分抜く)	400mg/m ²	Day1、8、15	2時間	
	2回目以降 セツキシマブ 生食100mL(セツキシマブの容量分抜く)	250mg/m ²		1時間	
経過観察	セツキシマブ終了後、生食をセツキシマブ投与速度と同じ速度以下で投与する。 Infusion reactionの発現に注意し1時間経過観察する。				
②	オキサリプラチン	130mg/m ²	Day1	2時間	
	5%ブドウ糖液 500mL				
内服	カペシタビン		Day1朝～15夕	朝夕	

プロトコール番号

大腸癌 3週毎 セツキシマブ+オキサリプラチン+S-1 (CET+SOX) 療法					催吐リスク 中等度
投与プロトコール: 1クール21日間		投与量	投与日	投与時間	備考
ルートキープ輸液	5%ブドウ糖液 250mL	-	Day1、8、15		S-1の投与量 (体表面積あたり) 1.25㎡未満 80mg/日 1.25~1.5㎡ 100mg/日 1.5㎡以上 120mg/日
①	初回 セツキシマブ 生食500mL(セツキシマブの容量分抜く)	400mg/m ²	Day1、8、15	2時間	
	2回目以降 セツキシマブ 生食100mL(セツキシマブの容量分抜く)	250mg/m ²		1時間	
経過観察	セツキシマブ終了後、生食をセツキシマブ投与速度と同じ速度以下で投与する。 Infusion reactionの発現に注意し1時間経過観察する。				
②	オキサリプラチン	130mg/m ²	Day1	2時間	
	5%ブドウ糖液 500mL				
内服	S-1		Day1夕~15朝	朝夕	

プロトコール番号

大腸癌 2週毎 セツキシマブ+イリノテカン+フルオロウラシル+レボホリナート
(CET+FOLFIRI)療法

投与プロトコール: 1クール14日間					備考	催吐リスク 高度
	投与量	投与日	投与時間			
ルートキープ輸液	生食 250mL	-	Day1、8			
①	初回 セツキシマブ 生食500mL(セツキシマブの容量分抜く)	400mg/m2	Day1、8	2時間		
	2回目以降 セツキシマブ 生食100mL(セツキシマブの容量分抜く)	250mg/m2		1時間		
経過観察	セツキシマブ終了後、生食をセツキシマブ投与速度と同じ速度以下で投与する。 Infusion reactionの発現に注意し1時間経過観察する。					
②	イリノテカン	150mg/m2	Day1	2時間		
	5%ブドウ糖液 250mL					
③	レボホリナート	200mg/m2	Day1	2時間		
	5%ブドウ糖液 250mL					
②・③は同時に投与						
④	フルオロウラシル	400mg/m2	Day1	全開		
	5%ブドウ糖液 100mL					
⑤	フルオロウラシル	2400mg/m2	Day1	46時間		
	ヘパリンNaロック10U/mLシリンジ10mL					
	生食					

プロトコール番号

大腸癌 2週毎 セツキシマブ+イリノテカン
(CET+CPT-11)療法

催吐リスク
中等度

投与プロトコール: 1クール14日間		投与量	投与日	投与時間	備考
ルートキープ輸液	生食 250mL	-	Day1、8		
①	初回 セツキシマブ 生食500mL(セツキシマブの容量分抜く)	400mg/m2	Day1、8	2時間	
	2回目以降 セツキシマブ 生食100mL(セツキシマブの容量分抜く)	250mg/m2		1時間	
経過観察	セツキシマブ終了後、生食をセツキシマブ投与速度と同じ速度以下で投与する。 Infusion reactionの発現に注意し1時間経過観察する。				
②	イリノテカン	150mg/m2	Day1	1.5時間	
	5%ブドウ糖液 500mL				

プロトコール番号

大腸癌 2週毎 セツキシマブ+オキサリプラチン+フルオロウラシル+レボホリナート
(CET+mFOLFOX6)療法

催吐リスク
中等度

投与プロトコール: 1クール14日間		投与量	投与日	投与時間	備考	
ルートキープ輸液	5%ブドウ糖液 250mL	-	Day1、8			
①	初回 セツキシマブ 生食500mL(セツキシマブの容量分抜く)	400mg/m2	Day1、8	2時間		
	2回目以降 セツキシマブ 生食100mL(セツキシマブの容量分抜く)	250mg/m2		1時間		
経過観察	セツキシマブ終了後、生食をセツキシマブ投与速度と同じ速度以下で投与する。 Infusion reactionの発現に注意し1時間経過観察する。					
②	オキサリプラチン	85mg/m2	Day1	2時間		
	5%ブドウ糖液 250mL					
③	レボホリナート	200mg/m2	Day1	2時間		
	5%ブドウ糖液 250mL					
②・③は同時に投与						
④	フルオロウラシル	400mg/m2	Day1	全開		
	5%ブドウ糖液 100mL					
⑤	フルオロウラシル	2400mg/m2	Day1	46時間		
	ヘパリンNaロック10U/mLシリンジ10mL					
	生食					

プロトコール番号

大腸癌 2週毎 パニツムマブ(Pani)療法					催吐リスク 最小度
投与プロトコール: 1クール14日間		投与量	投与日	投与時間	備考
ルートキープ輸液	生食 250mL	-	Day1		
①	パニツムマブ	6mg/kg	Day1	1時間	
	生食 100mL(パニツムマブの容量分抜く)				
経過観察	パニツムマブ終了後、生食を投与する。Infusion reactionの発現に注意し1時間経過観察する。				

プロトコール番号

大腸癌 2週毎 パニツムマブ+イリノテカン
(Pani+CPT-11)療法

催吐リスク
中等度

投与プロトコール: 1クール14日間		投与量	投与日	投与時間	備考
ルートキープ輸液	生食 250mL	-	Day1		
①	パニツムマブ	6mg/kg	Day1	1時間	
	生食100mL(パニツムマブの容量分抜く)				
経過観察	パニツムマブ終了後、生食を投与する。Infusion reactionの発現に注意し1時間経過観察する。				
②	イリノテカン	150mg/m2	Day1	1.5時間	
	5%ブドウ糖液 500mL				

プロトコール番号

大腸癌 2週毎 パニツムマブ+イリノテカン+フルオロウラシル+レボホリナート
(Pani+FOLFIRI)療法

投与プロトコール: 1クール14日間					投与量	投与日	投与時間	備考	催吐リスク 高度		
ルートキープ輸液	生食 250mL	-	Day1								
①	パニツムマブ	6mg/kg	Day1	1時間							
	生食100mL(パニツムマブの容量分抜く)										
経過観察	パニツムマブ終了後、生食を投与する。Infusion reactionの発現に注意し1時間経過観察する。										
②	イリノテカン	150mg/m2	Day1	2時間							
	5%ブドウ糖液 250mL										
③	レボホリナート	200mg/m2	Day1	2時間							
	5%ブドウ糖液 250mL										
②・③は同時に投与											
④	フルオロウラシル	400mg/m2	Day1	全開							
	5%ブドウ糖液 100mL										
⑤	フルオロウラシル	2400mg/m2	Day1	46時間							
	ヘパリンNaロック10U/mLシリンジ10mL										
	生食										

プロトコール番号

大腸癌 2週毎 パニツムマブ+オキサリプラチン+フルオロウラシル+レボホリナート
(Pani+mFOLFOX6)療法

催吐リスク
中等度

投与プロトコール: 1クール14日間		投与量	投与日	投与時間	備考	
ルートキープ輸液	5%ブドウ糖液 250mL	-	Day1			
①	パニツムマブ 生食100mL(パニツムマブの容量分抜く)	6mg/kg	Day1	1時間		
経過観察	パニツムマブ終了後、生食を投与する。Infusion reactionの発現に注意し1時間経過観察する。					
②	オキサリプラチン 5%ブドウ糖液 250mL	85mg/m2	Day1	2時間		
③	レボホリナート 5%ブドウ糖液 250mL	200mg/m2	Day1	2時間		
②・③は同時に投与						
④	フルオロウラシル 5%ブドウ糖液 100mL	400mg/m2	Day1	全開		
⑤	フルオロウラシル ヘパリンNaロック10U/mLシリンジ10mL 生食	2400mg/m2	Day1	46時間		

プロトコール番号

大腸癌 4週毎 ベバシズマブ+イリノテカン+S-1 (BV+IRIS)療法					催吐リスク 中等度
投与プロトコール:1クール28日間		投与量	投与日	投与時間	備考
ルートキープ輸液	生食 250mL	-	Day1、15		S-1の投与量(体表面積あたり) 1.25㎡未満 80mg/日 1.25~1.5㎡ 100mg/日 1.5㎡以上 120mg/日
①	ベバシズマブ 生食100mL	5mg/kg	Day1、15	使用上の 注意参照	
②	イリノテカン 5%ブドウ糖液 500mL	100mg/m ²	Day1、15	1.5時間	
内服	S-1		Day1夕~15朝	朝夕	
◆ベバシズマブは初回90分かけて滴下。問題なければ2回目 60分 3回目以降 30分に時間短縮可能。					

プロトコール番号

大腸癌 4週毎 イリノテカン+S-1(IRIS)療法					催吐リスク 中等度
投与プロトコール: 1クール28日間		投与量	投与日	投与時間	備考
ルートキープ輸液	生食 250mL	-	Day1、15		S-1の投与量(体表面積あたり) 1.25㎡未満 80mg/日 1.25~1.5㎡ 100mg/日 1.5㎡以上 120mg/日
①	イリノテカン 5%ブドウ糖液 500mL	100mg/m ²	Day1、15	1.5時間	
内服	S-1		Day1夕~15朝	朝夕	

プロトコール番号

大腸癌 3週毎 S-1+オキサリプラチン(SOX)療法					催吐リスク 中等度
投与プロトコール: 1クール21日間		投与量	投与日	投与時間	備考
ルートキープ輸液	5%ブドウ糖液 250mL	-	Day1		S-1の投与量(体表面積あたり) 1.25㎡未満 80mg/日 1.25~1.5㎡ 100mg/日 1.5㎡以上 120mg/日
①	オキサリプラチン 5%ブドウ糖液 500mL	130mg/m ²	Day1	2時間	
内服	S-1		Day1夕~15朝	朝夕	

プロトコール番号

大腸癌 3週毎 ベバシズマブ+S-1+オキサリプラチン(BV+SOX)療法					催吐リスク 中等度
投与プロトコール:1クール21日間		投与量	投与日	投与時間	備考
ルートキープ輸液	5%ブドウ糖液 250mL	-	Day1		S-1の投与量(体表面積あたり) 1.25㎡未満 80mg/日 1.25~1.5㎡ 100mg/日 1.5㎡以上 120mg/日
①	ベバシズマブ 生食100mL	7.5mg/kg	Day1	使用上の 注意参照	
②	オキサリプラチン 5%ブドウ糖液 500mL	130mg/m2	Day1	2時間	
内服	S-1		Day1夕~15朝	朝夕	
◆ベバシズマブは初回90分かけて滴下。問題なければ2回目 60分 3回目以降 30分に時間短縮可能。					

プロトコール番号

大腸癌 3週毎 ベバシズマブ+S-1 (BV+S-1)療法					催吐リスク 軽度
投与プロトコール: 1クール21日間		投与量	投与日	投与時間	備考
ルートキープ輸液	生食 250mL	-	Day1		S-1の投与量(体表面積あたり) 1.25㎡未満 80mg/日 1.25~1.5㎡ 100mg/日 1.5㎡以上 120mg/日
①	ベバシズマブ 生食100mL	7.5mg/kg	Day1	使用上の 注意参照	
内服	S-1		Day1夕~15朝	朝夕	
◆ベバシズマブは初回90分かけて滴下。問題なければ2回目 60分 3回目以降 30分に時間短縮可能。					

プロトコール番号

大腸癌 4週毎 ベバシズマブ+トリフルリジン・チピラシル(BV+FDT.TPI)療法					催吐リスク 軽度
投与プロトコール:1クール28日間		投与量	投与日	投与時間	備考
ルートキープ輸液	生食 250mL	-	Day1、15		
①	ベバシズマブ 生食100mL	5mg/kg	Day1、15	使用上の 注意参照	
内服	トリフルリジン・チピラシル		Day1夕～6朝 Day8夕～13朝	朝夕	
◆ベバシズマブは初回90分かけて滴下。問題なければ2回目 60分 3回目以降 30分に時間短縮可能。					
トリフルリジン・チピラシルの投与量 (体表面積あたり)		1.07㎡未満	70mg/日		
		1.07～1.23㎡未満	80mg/日		
		1.23～1.38㎡未満	90mg/日		
		1.38～1.53㎡未満	100mg/日		
		1.53～1.69㎡未満	110mg/日		
		1.69～1.84㎡未満	120mg/日		
		1.84～1.99㎡未満	130mg/日		
		1.99～2.15㎡未満	140mg/日		
		2.15㎡以上	150mg/日		

プロトコール番号

大腸癌 3週毎 ベバシズマブ+カペシタビン(BV+Cape)療法					催吐リスク 軽度
投与プロトコール:1クール21日間		投与量	投与日	投与時間	備考
ルートキープ輸液	生食 250mL	-	Day1		カンサリンの投与量 (体表面積あたり) 1.36㎡未満 2400mg/日 1.36㎡~1.66㎡ 3000mg/日 1.66㎡~1.96㎡ 3600mg/日 1.96㎡以上 4200mg/日
①	ベバシズマブ 生食100mL	7.5mg/kg	Day1	使用上の 注意参照	
内服	カペシタビン		Day1夕~15朝	朝夕	
◆ベバシズマブは初回90分かけて滴下。問題なければ2回目 60分 3回目以降 30分に時間短縮可能。					

プロトコール番号

大腸癌 2週毎 イリノテカン(CPT-11)療法					催吐リスク
投与プロトコール: 1クール14日間					中等度
		投与量	投与日	投与時間	備考
ルートキープ輸液	生食 250mL	-	Day1		
①	イリノテカン	150mg/m ²	Day1	1.5時間	
	5%ブドウ糖液 500mL				

プロトコール番号

大腸癌 2週毎 ラムシルマブ+イリノテカン+フルオロウラシル+レボホリナート
(RAM+FOLFIRI)療法

投与プロトコール: 1クール14日間					投与量	投与日	投与時間	備考	催吐リスク 高度
ルートキープ輸液	生食 250mL		-	Day1					
①	ラムシルマブ		8mg/kg	Day1	1時間				
	生食250mL (ラムシルマブ容量分を抜く)								
②	イリノテカン		150mg/m2	Day1	2時間				
	5%ブドウ糖液 250mL								
③	レボホリナート		200mg/m2	Day1	2時間				
	5%ブドウ糖液 250mL								
②・③は同時に投与									
④	フルオロウラシル		400mg/m2	Day1	全開				
	5%ブドウ糖液 100mL								
⑤	フルオロウラシル		2400mg/m2	Day1	46時間				
	ヘパリンNaロック10U/mLシリンジ10mL								
	生食								
◆ラムシルマブは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分まで短縮可能。									

プロトコール番号

大腸癌 8週毎 フルオロウラシル+レボホリナート(RPMI)療法					催吐リスク
投与プロトコール: 1クール56日間					軽度
		投与量	投与日	投与時間	備考
ルートキープ輸液	生食 250mL	-	Day1、8、15、 22、29、36		
①	レボホリナート 5%ブドウ糖液 250mL	250mg/m ²	Day1、8、15、 22、29、36	2時間	
②	フルオロウラシル 5%ブドウ糖液 100mL	600mg/m ²	Day1、8、15、 22、29、36	全開	
◆フルオロウラシルはレボホリナート投与開始1時間後に全開投与					